TEXIO

NOTE 01

# 当社製品の Windows10/11 対応について

Windows10 22H2 / Windows11 24H2 における動作確認状況をご案内いたします。

## 一般状況について

- USB-CDC のデバイスドライバは OS の標準のものが使用可能です。Windows は最新に更新してください。
  一部の仮想 COM デバイスにおいてもバージョンによっては標準で用意されている場合があります。自動で COM ポートに認識される場合はそのまま利用してください。
- TEXIO-USBドライバについては問題なく動作しております。USBドライバとAPIをインストールしてご利用ください。
  インストール時に Setup*.exe が失敗する場合は msi ファイルでインストールしてください。
- USB-TMC(USB488)ドライバについては、最新の Windows 対応の NI-VISA(National Instruments 製)のフルインストール版を利用してください。
- 各サンプルソフトにおきましては、OS 側の仕様変更により RS-232C のポート獲得で、直接ポート番号を指定しているアプリは問題ありませんが、利用できるポートを検索するタイプはエラーとなる場合があります。対処方法は弊社までお問合せください。また現状で Excel は仕様の異なる 32bit 版と 64bit 版が存在し、従来の Excel-VBA によるサンプルアプリケーションはそのままでは 64bit 版の Excel に対応できません。共用のアプリケーションに更新していますので最新版をご利用ください。共用化は順次対応しております。
- Windows10 において.NET 3.5 以下のライブラリを使用している場合は、PC のコントロールパネルにあるプログラムと機能→Windows 機能の有効化で.NET 3.5 ライブラリを追加してください。(追加時にエラーが出る場合は開発者モードの設定、S モードの解除、WSUS の解除などが必要になります。対応が不明な場合は、ご利用の PC を管理されている担当者またはシステム管理者にご相談ください。一般的な操作方法を追加情報に記述してあります。)
- Windows10 より管理者の権限が変更になりました。インストーラーを実行する場合は、エクスプローラでファイルを選択し、右クリックで表示される管理者として実行を行ってください。通常のダブルクリックでは権限が不足して実行が失敗することがあります。
- LAN を使った Socket 通信では Winsock ライブラリを使用します。Excel-VBA 用のサンプルアプリでライブラリが認識できない場合は VB6 ランタイムライブラリをマイクロソフトなどから入手してインストールしてください。また、ファイアウォールやセキュリティソフトで Socket ポートが無効になっている場合は利用を許可してください。
- 2017 年 4 月のアップデート以後のバージョンでは新規インストールした Windows10 で PC-BIOS のセキュアブート(UEFI)が有効になっていると、テストモードやドライバのインストールが拒絶される場合があるようです。この場合はセキュアブートをオフにしてから、デバイスドライバをインストールしてください。
- マイクロソフトの仕様変更によりデバイスドライバおよびアプリケーションで利用しているデジタル認証(SHA1)が OS により利用できなくなっています。製品に付属しているデバイスドライバとアプリケーションが認証されていないという表示の場合はこれに該当します。新しいデジタル認証(SHA256)に対応したものが弊社 HP に掲載されていますので、改めて HP からダウンロードしてご利用ください。
- オシロスコープのリモートディスクを利用する場合、PC 側の共有ユーザーに Everyone を使うとマウントできないことがあります、単純な接続の場合はローカルアカウントで共有してください。手順としては、PC に接続用の専用ローカルアカウントを追加、フォルダの共有ユーザーにローカルアカウントを追加します。オシロスコープ側のマウント設定にローカルアカウントを設定するとマウントできるようになります。Everyone のみで利用できるようにするにはレジストリかグループポリシーの変更が必要です。また、Windows の機能で smb1.0/CIFS サーバーが無効となっている場合は有効に変更し、共有の詳細設定で共有を有効にしてください。
  PC でネットワークドライブの割り当てを行ない、**サインイン時に再接続**の設定を行うとネットワークへのアクセスが極端に遅くなったり、ドライブへアクセスできない場合があります。この場合は全ての割り当てについて再接続をしない設定に変更してください。ログイン後に手動で接続した場合は問題が無いようです。
- 定期的な Windows Update により状況が変化しておりますので、更新情報にご注意ください。また、一度設定を変更しても **Update により設定が戻る場合があります**ので update を行った後には設定確認をしてください。
- 現状では **Window10 のアップデート・再起動を全て止める方法**は提示されていません。Update に伴う再起動や速度低下、遅延などの症状が不定期に発生することがありますので**連続稼働にはご注意**ください。
- 動作確認は Windows10Home および Professional でおこなっています。Embedded など他のエディションでは Professional と同等のセキュリティ設定が必要な場合があります。DeviceGuard やアンチウイルスによる USB や LAN などのポートの機能制限などを適切に設定してください。また、ARM 版 Windows10 については基本的には対象外となります。ドメインに参加している PC では設定されているポリシーによって設定やセキュリティの変更ができず、デバイスやアプリケーションが動作しないことがありますのでご注意ください。

- 画面の解像度、拡大率を変更した場合はすべてのアプリを終了しログアウト後に再ログインをしてください。
そのままの利用ではボタンなどの表示が異常になる場合があります。また 2 画面以上の利用の場合はメイン画面に移動してみてください。
- **Windows11** においての USB の動作は、短時間での動作確認により TEXIO-API、USB-CDC、USB-TMC、Silabs、FTDI、CH341 において Windows10 21H2 と同等と認識しています。ドライバ類の認証なども現状で影響は無い様でした。設定によってはドライバ/アプリケーション類のインストールもユーザーごとに必要になります。
PL2303 については Windows11 で非標準となるタイプがあり、この場合は USB ドライバのインストールが必要になります。
- インストールを行わないアプリケーションを実行すると Defender SmarScreen によってアプリ実行ができない場合があります。 この場合は SmartScreen の詳細情報をクリックしアプリケーションの詳細を確認してから実行をクリックしてください。1 度許可すると 2 回目の実行からは SmartScreen は表示されなくなりますので操作は十分注意しておこなってください。
- HP やクラウドなどからダウンロードしたファイルには”ほかのコンピュータから取得した”という属性が付与されています。この属性がついたファイルにアクセスすると OS によってブロックされる場合があります。2022 年 3 月以後の OS アップデートでブロックが有効化され、Excel などでファイルが開かない、**マクロ・VBA が実行できない**などの症状が発生しています。対象のファイルのプロパティを開き、セキュリティの許可するをチェックすることでブロックは解除されます。このブロックは MOTW と呼ばれています。

## 各製品の確認状況

(2024/9/8 更新)

| 製品名 | USB ドライバ | アプリケーション | サンプルソフト |
|---|---|---|---|
| PW-A シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| PAR-A シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| PSF シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| PS-A シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| PDS-A シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| LSA シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| LW シリーズ | ○(TEXIO) | ○ | ○ |
| GP-600B | ○(FTDI) | ○ | ○ |
| GPD シリーズ | ○(FTDI) | ○ | ○ |
| PCS シリーズ | ○(FTDI) | ○ | - |
| GLC-9000 | ○(FTDI) | ○ | - |
| GBM-3000 シリーズ | ○(FTDI) | - | ○ |
| LCR-6000 シリーズ | ○(FTDI) | ○ | ○ |
| LCR-8200 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | - |
| GPP シリーズ | ○(CH341) | - | ○ |
| PDW シリーズ | ○(CH341) | - | ○ |
| GSP-9330 | ○(USB-TMC) | ○ | ○ |
| GSP-818 | ○(USB-TMC) | ○ | - |
| FGX-295 | ○(USB-TMC) | ○ | ○ |
| PSR シリーズ | ○(USB-TMC) | - | - |
| DL-2060/1060 | ○(USB-TMC) | ○ | ○ |
| DL-2140 シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| GDM-834x シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| GDM-825x シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| STW-9000 シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| GCT-9040 | ○(Silabs) | ○ | - |
| GPT-9900 シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| GPT-9800 シリーズ | ○(Silabs) | ○ | ○ |
| GPT-9500 シリーズ | ○(USB-CDC) | - | - |
| GPT-10000 シリーズ | ○(USB-CDC) | - | ○ |
| GLC-10000 シリーズ | ○(USB-CDC) | - | - |

| 製品名 | USB ドライバ | アプリケーション | サンプルソフト |
|---|---|---|---|
| PSW シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| PSU シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| PFR シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| PPX シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| LSG シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| PEL-2000 シリーズ | ○(USB-CDC) | - | ○ |
| APS-7000 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| ASR シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| GDS シリーズ | △(USB-CDC) | ○ | ○ |
| DCS シリーズ | △(USB-CDC) | ○ | ○ |
| MDO シリーズ | △(USB-CDC) | ○ | ○ |
| MPO シリーズ | ○ (USB-TMC) | ○ | |
| GDM-8261A | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| GDM-8351<br>GDM-9060 シリーズ | ○(USB-CDC)<br>○(USB-TMC) | ○ | ○ |
| DAQ-9600 シリーズ | ○(USB-CDC)<br>○(USB-TMC) | ○ | ○ |
| AFG-2000 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | - |
| AFG-3000 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| USG シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| MFG-2200 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | ○ |
| MFG-2100 シリーズ | ○(CH341) | ○ | ○ |
| GSP-730 | ○(USB-CDC) | ○ | - |
| GRF-1300 シリーズ | ○(USB-CDC) | ○ | - |
| GOM-804/805 | ○(USB-CDC) | ○ | - |
| GPM-8213/8310 | ○(USB-CDC) | - | ○ |
| GPM-8330/8320 | ○(USB-CDC) | - | ○ |
| AEL シリーズ | ○(PL-2303) | - | - |
| LSP/LSC シリーズ | ○(PL-2303) | - | - |
| GSG-2000 シリーズ | ○(USB-TMC) | - | - |

**△(USB-CDC)**は Wondows10 の Ver1810 以前の PC で 4k バイト以上の波形、画像データの一括転送を USB で行うとデータの欠落が確認されています、Ver1903 以後では発生頻度が低下していますができるだけ高速の PC を利用してください。

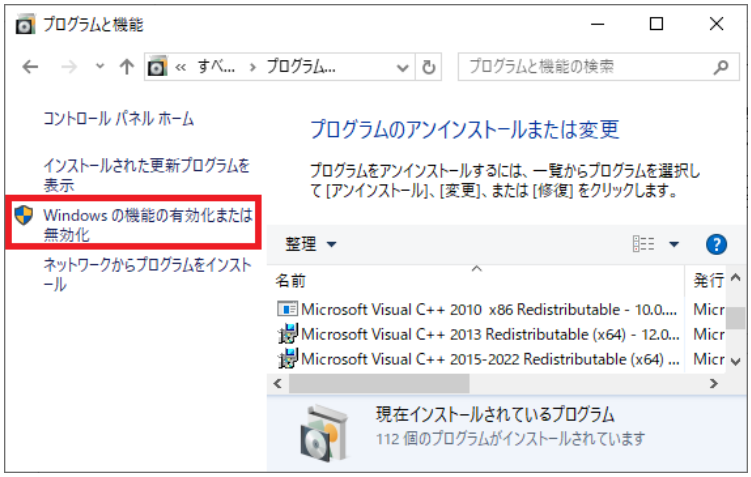
**GDS-1052-U/DCS-4605** において USB が正しく認識されないことがあります、また認識されても正しく通信できない場合があります。正常に動作している場合でも Windows アップデートにより通信できなくなることがありますのでご注意ください。

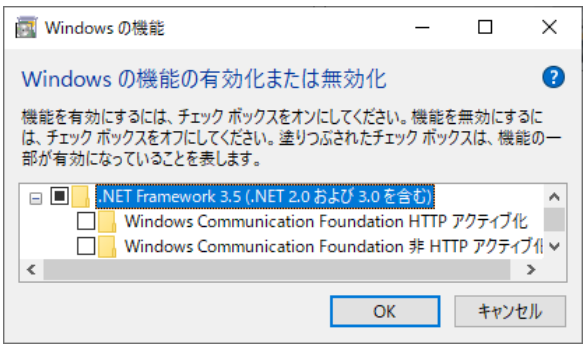
**GDS-200/300 シリーズ**において、通信モードの場合に USB3.0/3.1 のポートで正しく認識されない場合があります。この時は USB ハブを間に挿入するか、USB2.0 のポートを使うと認識され、動作します。またディスクモードでは、USB3.0/3.1 のポートでも問題なく動作しています。

○(CH341)、○(PL-2303)は USB ドライバのインストールが必要な場合があります。

# 追加情報について

古めのアプリケーションを新しい PC で利用する場合、正常にインストールや動作がしないことがあります。
アプリケーションのインストールは管理者で実行としておこなってください。対象の.NET Framework が利用できるようにしてください。Windows10/11 において.NET 3.5 以下のライブラリを使用しているアプリケーションは OS の機能の追加でライブラリの追加が必要です。追加方法は、コントロールパネルにあるプログラムと機能をクリック、Windows の機能の有効化または無効化をクリック、.NET Framework 3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)を有効にします。モジュールがダウンロードされますので、インターネットに接続しライブラリがダウンロードできる環境で設定してください。




**PC をインターネットに接続できない場合**は、OS や PC のセキュリティにより方法が異なります。

**Windows10 の場合**

インターネットに接続できるPCでマイクロソフトのサイトから.net Framework3.5 のライブラリをダウンロード、USB メモリなどで対象のPCにコピーしてからインストーラーを実行して下さい

**Windows11 の場合**

OS のバージョンを確認し、インターネットに接続できる PC でマイクロソフトのサイトから OS のインストール用の ISO ファイルを入手して対象の PC にコピーします。次にコピーした ISO ファイルを右クリックしてマウントを選択します。通常は D ドライブまたは E ドライブに割り当てされますのでドライブを確認してください。
Windows メニューから Windows ツールを開き、コマンドプロンプトを右クリックして管理者として実行を選択します。開いたコマンドプロンプトで以下のコマンドを実行します。次のどちらかの 1 行を選択、コピー・ペーストしてください。

D ドライブの場合

```
Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:D:¥sources¥sxs /LimitAccess
```

E ドライブの場合

```
Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:E:¥sources¥sxs /LimitAccess
```

以上で.net3.5 の設定は完了です。本資料の内容はセキュリティ変更で変更になることがありますのでご注意ください。基本的に Windows11 でインターネットに接続できない場合、正常動作は保証されないと思われます。